福島のぶゆき国会日誌

＜任期の折り返しにあたっての決意　YouTube 配信＞

２年前、「党より人物」を掲げた無所属の挑戦に、多くの地元の皆さま、仲間たちからのご支援をいただいて歴史的な選挙戦を戦い、国会にお送りいただきました。選挙中訴えてきた「既存の政党の枠組みを超えた政治改革なくして、日本の再生はない」という信念はいささかも揺らぐところはありませんが、この２年間目に見える結果となっていないことに忸怩たる思いがあります。日頃よりのご支援やご期待に感謝申し上げますとともに、お詫び申し上げます。

ロシアとウクライナの戦争は終結の見通しがつかず、イスラエルとハマスの戦いは激しさを増し、中国では権力中枢に水面下での大きな動きがあるようにも見受けられます。もしかしたら来年は世界史的な年になるのではないか、という予感もいたします。

そうした中、岸田政権の減税などの経済政策を巡る迷走を見ていると、今の日本の政治の枠組みではこうしたことに対応できないことは明らかです。日本人の英知を集め、ベスト・アンド・ブライテストが既存の党派を超えて国難を乗り切るために行動しなければならない、そんな時も来るのではないでしょうか。

そうした私の思いと決意を語っておりますので、ぜひ YouTube をご覧ください。

＜超党派での政治活動＞

臨時国会が開会した国会内では、テレビ中継での与野党論戦とは別に、さまざまな課題に対して党派を超えた勉強会が盛んにおこなわれています。

「超党派石橋湛山研究会」では、湛山のお孫さんの石橋省三氏をお招きして身内からみた湛山像についてお話しいただきました。「政治家の利己心が第一に追求すべきものは、財産や私生活の楽しみではない。国民の間に湧き上がる信頼であり、名声である。‥そうでないなら、政治家をやめてほかの職業に替るがいい」など湛山の言葉を、拳拳服膺いたします。会場には、石破茂先生や小渕優子先生、村上誠一郎先生などもお越しになっていました。

亀井静香元衆議院議員から直々に参加を呼び掛けられた「神宮外苑の自然と歴史・文化を守る国会議員連盟」では、東京都議会議員の皆さんと意見交換を行いました。

「超党派ネット社会におけるプライバシーの在り方を考える議員連盟」では、共同会長を小泉進次郎先生が務めるとあって、多くのマスコミが入りました。

31 日、日頃よりご指導いただいている選挙プランナー藤川晋之助さんの誕生パーティーに出席しました。お祝いの言葉は、有志の会の合宿で講師を務めていただいた朝賀昭先生。こちらにも、藤川さんの幅広い人脈を反映して、超党派での国会議員をはじめ多様な方々がいらっしゃっていました。

＜地元からの要望＞

1 日、大塚秀喜 桜川市長、萩原剛志 桜川市議会議長が要望書を携えていらしていただきました。議員会館事務所の壁一面を桜川コーナーにして宣伝していることをご確認いただけたと思います。

＜有志の会　財政のフレームワーク・ヒアリング　東大生が傍聴＞

地元出身の東大生が友達を連れて国会に来てくれました。二人とも官僚志望とのことです。官僚に優秀な人材が来ないと嘆かれている中、頼もしく思います。さっそく有志の会のヒアリングを傍聴してもらいました。財政の中長期的なフレームワークをめぐる、財務省のエース官僚と有志の会の国会議員の議論をどのように見たでしょうか。

衆議院議員 福島伸享事務所【国会事務所】〒100-8982　東京都千代田区永田町 2-1-2　衆議院第二議員会館 419 号　☎ 03 - 3508 - 7262